

コースの概要 (2021年度)

- 期 間 2021年11月5日(金)午後、6日(土)、7日(日)、13日(土)、14日(日)
- 会 場 一橋大学 千代田キャンパス
(東京都千代田区2-1-2 学術総合センター2階 一橋講堂 中会議場)
※オンライン開催に変更となる可能性があります。
- 定 員 40人
- 受講料 15万円/人
※受講料にはテキスト代等を含みます。
※地方自治体職員(病院勤務者を除く)および大学院生(社会人学生を除く)の方の受講料については、在職・在籍確認の上、5万円/人としています。
- 受講申込み 2021年6月受講申込み受付開始予定(WEB申し込み)
<http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/program/>
- 実施者 一橋大学大学院経済学研究科および社会科学高等研究院 医療政策・経済研究センター(HIAS Health)



コースの特徴

EBPM(科学的な根拠に基づいた政策立案)

HIAS Healthにおける最先端の研究成果を取り入れ、社会科学の知見を医療の政策立案・実務の現場に反映させることを目指しています。

実務的な統計手法の習得

医療経済分析における統計の手法について、講義とエクセル等統計ソフトを用いた演習を通じて学びます。

座学とグループワークを合わせたアクティブ・ラーニング

講義のテーマの中から事前に受講生に希望調査をし、関心に応じて、5名程度のグループを編成し、グループワークを行います。

受講生間の交流

自治体・医療関係者等、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築を促し、政策立案と現場の連携に繋がります。



●お問い合わせ先

一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター(HIAS Health)
〒186-8601 東京都国立市中2-1
URL <http://health-economics.hias.hit-u.ac.jp/>
E-mail hias-info@ad.hit-u.ac.jp



社会連携プログラム

第4回

医療経済 短期集中コース

—EBPMで考える医療経済—



一橋大学
大学院経済学研究科
一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター

医療経済短期集中コースについて

医療・介護に関わる専門職の方々がEBPMの考え方を理解することが、これまでに増して重要となる中、一橋大学では、社会人を対象とした高度職業人専門プログラム(リカレント教育プログラム)である「HIAS Health社会連携プログラム医療経済短期集中コース」を、2018年度より開講しました。

コースでは、データに基づいた医療・介護に関わる政策・経営の実態把握と分析や効率化に向けた手法等を、データ分析の初心者にも分かりやすく講義します。また、演習・グループワークなどのアクティブ・ラーニングを組み込み、内容への理解を深めるとともに、バックグラウンドの異なる受講者間の交流・関係構築の促進が図られます。是非、医療・介護の現場で仕事をされている方、政策立案に携わる方、製薬企業、大学関係者など医療経済に関心のある方に、広く受講していただければと願っております。



佐藤 主光 Motohiro SATO

一橋大学社会科学高等研究院
医療政策・経済研究センター(HIAS Health)
センター長
一橋大学大学院経済学研究科 教授
一橋大学国際・公共政策大学院 教授

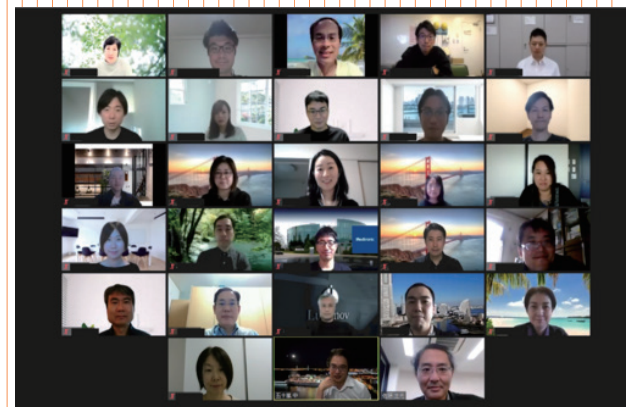
コースの内容 (例:2020年度の時間割から)

2021年度の時間割は6月にHPで公開予定

- コースで使われる統計学の基本 講義と演習
[講師] 中村 良太 一橋大学社会科学高等研究院 准教授/HIAS Health 研究員
- 医療保健政策の政策評価 講義と演習
[講師] 高久 玲音 一橋大学大学院 経済学研究科 准教授/HIAS Health 研究員
- コロナ危機における経済政策対応 講演
[講師] 小林慶一郎 公益財団法人東京財団政策研究所 研究主幹
- 実践現場からの報告① 日本のプライマリケアの現状と課題
～新型コロナウイルス感染症は何を明らかにし、何を变えたか～
[講師] 西岡大輔 日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医/
千葉県介護支援専門員/江戸川学園おたかの森専門学校 社会福祉士養成課程
- 医療政策の時事報告 医療介護分野における規制改革
[講師] 彦谷直克 内閣府規制改革推進室 次長
- 医療機関の管理会計 講義と演習
[講師] 荒井 耕 一橋大学大学院経営管理研究科 教授/HIAS Health 研究員
- 費用効果分析 講義と演習
[講師] 五十嵐 中 横浜市立大学医学群 健康社会医学ユニット 准教授/
東京大学大学院 薬学系研究科 特任准教授/HIAS Health 客員研究員
- 医療と行動経済学 講演
[講師] 大竹文雄 大阪大学大学院経済学研究科 教授
- 実践現場からの報告② 東京都地域医療構想の実現に向けて
[講師] 江口耕一 東京都福祉保健局医療政策部計画推進担当課長
- アフリカの保健・医療制度改革と住民参加
～選択実験を応用したヘルスシステムリサーチの紹介 講義
[講師] 本田文子 上智大学経済学部 教授
- グループワーク ■グループワーク報告会 ■パネルディスカッション

受講生の声

- データ分析を行う前に、集められたデータが分析の目的に照らして妥当性を有するかという点に留意し、また結果についてもエビデンスがあるということで依拠しすぎない姿勢が大切だと、身に沁みて納得できました。
- ホットトピックであり実際に政策側に携わる方のお話が聴けて興味深かったです。ありがとうございました。
- 規制改革の経緯と現状に関して理解でき、オンライン医療などの今後の動向を意識しながら、業務にも反映させていければと思いました。
- 各メンバーの知識や情報を持ち寄って行い、意義のあるグループワークができたと考えます。
- 考えをまとめる良いきっかけになったのと、業界他社の人と一緒に考えをまとめることができたのは、良い機会でした。異業種の方のグループワーク発表も聞かせていただき、HTAについては業界内では話をしますが、異業種の方の課題に対する考え方を聞いたのも良い機会となりました。
- 政策評価の手法、概念の大枠を体系的に勉強することができ、非常に有意義でした。ありがとうございました。
- サポート的な雰囲気や学びの場を動機づけたと思う。自分の知りたいことの発問を専門の先生方にどのように伝えるかが課題であると改めて痛感した。満足度は高い。
- 医療現場、コンサルなど様々な分野の方とディスカッションできたことは非常に有意義であり、視野を広げることができました。
- 説明が非常に分かりやすく、事前知識があまりない状態でしたが、つまづくことなく講義についていくことができました。



2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オンライン形式での開催となりました。

